

情報解禁日時：2023年9月5日(火) 午前10時

日本赤十字社『つなげ、その「ち」から。』プロジェクト CM キャラクター
芦田愛菜さんが同世代の若者に向けて献血を呼びかける！！

日本赤十字社が『つなげ、その「ち」から。』をコンセプトに新CMを制作
TV-CM「道はつづく」篇が9月6日(水)より全国にてオンエア開始！
さらに、WEB-CM「はじまりのパス」篇・「サステナブル」篇も公開



日本赤十字社（本社:東京都港区 代表取締役社長:清家篤）は、献血の普及推進活動『つなげ、その「ち」から。』プロジェクトのCMキャラクターに芦田愛菜さん（19歳）を起用し、新CMを制作。TV-CM「道はつづく」篇、WEB-CM「はじまりのパス」篇、「サステナブル」篇を2023年9月6日（水）よりオンエア開始します。

今回のTV-CMでは、若い世代の人たちへ、献血に対する意識をより高めてもらうために、芦田さんが『『誰か』に任せればいい。『誰か』って誰？』と疑問を投げかけます。「ちがう！その『誰か』になるのは...わたし。」と強い決意を示し、若い世代の人たちに自分自身で考えて行動をしてほしいということを訴え、献血を呼びかけていきます。

また、今回の新CMのコンセプト「つなげ、その『ち』から。」にちなんで、WEB-CMでは芦田さんがラグビーボールを力強くパスするシーンや学生たちが同級生と一緒に献血をしているシーンが登場します。ぜひご覧ください。

新TV-CM「道はつづく」篇について

美しい木漏れ日の並木通りに立つ芦田愛菜さん。うつむいた表情で『誰か』に任せればいい。

『誰か』って誰？」と自分自身に問いかけると、次第に凜とした表情へと変化し「ちがう！その『誰か』になるのは...わたし。」と宣言します。

その言葉をきっかけに芦田さんは力強く走り出します。芦田さんの決意が街中の人達にも伝わり、後に続くように「わたし。」と自らが積極的に動いていくという決意を表し、勢いよく走り出します。

献血の普及推進活動「つなげ、その「ち」から。」プロジェクトを通し、年間100万人へ輸血用血液を届けるため、ラストには芦田さんが「いま、献血を。」と改めて呼びかける内容となっています。

新WEB-CM「はじまりのパス」篇について

ラグビーコートでラグビーボールを持ちながら遠くを見つめる芦田愛菜さん。「たとえ医療が進化しても、献血でしか救えない命がある。必要なのは、年間500万人以上の協力。そう、献血はチーム戦」という芦田さんの言葉に合わせながら、献血呼びかけのボランティアをする高校生や輸血用血液を運ぶ職員の姿が映し出されます。その後、「はじまりのパスを出すのは、わたし。」という言葉に合わせて、芦田さんの頭の上にハートのアイコンが登場し、若い世代の方々が芦田さんに続き、献血に対して自らが積極的に動き出す決意を表します。芦田さんやサラリーマンの男性がラグビーボールをパスし、「つなげ、その「ち」から。」プロジェクトに込められた、献血の意思を繋いでいくことを表現しています。

その後、献血Web会員サービス「ラブラッド」で献血を予約する様子が映し出され、芦田さんがラグビーボールを持ちながら、様々な世代の方と走り出します。献血の意思を繋ぐパスがたくさん飛び交うなか、芦田さんが「いま、献血を。」と呼びかけます。

新WEB-CM「サステナブル」篇について

青空が広がる校庭で校舎を見つめている芦田愛菜さん。

「サステナブル。問われているのは、言葉の意味じゃない。そこに向かう、“想い”なんだ。」という芦田さんの言葉に合わせながら、学生が答案用紙に「サステナブル」と書き、校庭を見つめています。

校庭で立っている芦田さんの先に赤い扉が見えると、「いま、はじまりの時。その扉を開くのは、わたし。」と芦田さんの言葉に合わせて頭の上にはハートのアイコンが現れ、学生たちの頭の上にもハートのアイコンが現れ、走り出します。そして芦田さんが赤い扉を開けたその先には「つなげ、その「ち」から。」という想いの元で、「この国の医療には～減り続けています」、献血の必要性と現状が芦田さんから語られます。そんな中“サステナブルな未来”を実現すべく、積極的に献血に取り組む学生たちが映し出され、改めて、芦田さんが「10代からの献血」を呼びかける内容となっています。

■ほぼ一発 OK！ 芦田愛菜さんの対応力を監督大絶賛！

今回の TV-CM は献血を決意する若者の気持ちを体現するため、目線や表情などが求められる撮影でした。監督から目線位置や表情のパターンなど細かい演技指導が入り、芦田さんはその指導を真剣に聞き入っていました。意図をしっかりと汲み取り、難しい芝居も一発 OK を連発。モニターを観ながら、監督も「目線や表情、とっても素敵です！」と大絶賛。その一言に芦田さんもほほ笑むなど、終始緊張感はありつつも和やかなムードで進んだ撮影となりました。風になびかれながら撮影するシーンでも、スタッフとコミュニケーションを取りながら臨機応変に撮影に対応し、芦田さんの演技力が十二分に発揮された撮影となりました



■スポーツが苦手という芦田愛菜さん。初めてラグビーボール投げに挑戦！！

芦田さんは、WEB-CM で公開される「はじめてのパス」篇の撮影でラグビーボール投げに初挑戦しました。実はスポーツが苦手で、特に球技が苦手だという芦田さん。この撮影がラグビーボール投げに初挑戦ということで、ラグビー指導スタッフからラグビーボールの投げ方をしっかりレクチャーしてもらいます。投球フォームや体のひねり方などわからないことを積極的に指導スタッフに質問している姿が印象的でした。ラグビーボールを使うシーンは、撮影カメラの画角内に綺麗にボールを入れなければいけないという難易度が高いシーンのため「もう少しいけそうですか？」と監督から投げる場所の細かい指導が入ります。芦田さんは微調整を繰り返しながら何度も挑戦。難易度の高いシーンの OK テイクでは、スタッフから歓声と拍手が送られました。これをうけて芦田さんも「(投げる) フォームを真似するのは得意かもしれないです！」と笑顔を見せていました。



Q1.今回、日本赤十字社の新 CM への出演で献血についての印象など、ご自身の中になにか変化はありましたか？

もちろん献血という言葉は知っていましたし、とても大切なことなので協力したいとは思っていましたが、具体的にどんなことをするのか、どのように協力することができるのか、まだまだ献血に対して分からない部分が多いと感じていました。今回の CM を通して、献血を受けられた方の声や、献血でどういう風に協力していけるのか、そういうことを知って献血の大切さをより感じましたし、私も「誰かの力になりたい！」とすごく感じました。いろいろな方にこの CM を観ていただけたら嬉しいです。

Q2.撮影の感想を教えてください

(この CM は)さわやかな CM です。「チーム戦」という言葉がありましたけど、ラストカットは皆とラグビーボールをもって走るシーンだったり・・・楽しく撮影することができました。

Q3.ラグビー初挑戦でしたが、初めてのラグビーはいかがでしたか？

ラグビーボールを持ったのも初めてだったので、まずどのように投げたらいいのか、など基礎からのスタートでした。ラグビーボールの触り心地も初めてで、固くてびっくりしたんですけど・・・たくさん教えていただいて楽しかったです。

Q4.「道はつづく」篇では、美しい木漏れ日の中で、誰かに任せるのではなくその誰かになるのは「私だ」と決意を込めるシーンがありましたが、最近、芦田さんが決意したことがあればお聞かせください。

お散歩をすることが最近の趣味で、「歩けるところは意識して歩こう！」と心がけて過ごしています。良い運動にもなり、とても気持ちがいいので「歩く」というのが、日常を良くするために決意したことです。

Q5.「はじまりのパス」篇に関連し、大学生になった芦田さんが一歩踏み出し「チャレンジしたいこと」はありますか？

大学生になってパソコンを使う機会が増えたので、もちろん「タイピングが早くなりたい」などもあります。一方で文字を自分で書く機会が減ってしまったなという風に感じていて、意識して文字を書く機会を大切にしたいと思っています。

Q6.「サステナブル」篇に関連して、芦田さんが普段から心掛けている「サステナブル」なアクションはありますか？

小さなことになってしまうのですが、自分のマイバック（エコバック）を持ち歩くようにしています。小さなことでも積み重ねれば大きなことになるかなという気持ちで取り組んでいます。

Q7.メッセージをお願いします。

皆さんこんにちは、芦田愛菜です。私が出演する日本赤十字社の新 CM がスタートします。今回の新 CM のテーマは『つなげ、その「ち」から。』になっています。献血の大切さを、CM をご覧になる皆さんにも繋いでいければ、と思っております。ぜひご覧ください。

新TV-CM「道はつづく」篇（15秒）ストーリーボード



芦田さんオフナレ)
「誰か」に任せればいい。



芦田さんオフナレ)
「誰か」って、誰？



芦田さんオフナレ)
ちがう！
その「誰か」になるのは・・・



芦田さんオフナレ)
わたし。



芦田さんオフナレ)
年間 100 万人に、
届けるために。



女性たちオフナレ)
わたし。



芦田さん)
いま、献血を。



新WEB-CM「はじまりのパス」篇（30秒）ストーリーボード



芦田さんオフナレ)
たとえ医療が進化しても、



芦田さんオフナレ)
献血でしか、
救えない命がある。



芦田さんオフナレ)
必要なのは、



芦田さんオフナレ)
年間 500 万人以上の協力。



芦田さんオフナレ)
そう、献血はチーム戦。



芦田さんオフナレ)
はじまりのパスを出すのは、



芦田さん)
わたし。



男性たちオフナレ)
ぼく。



芦田さんオフナレ)
Web 会員サービス「ラブラッド」なら



芦田さんオフナレ)
献血の予約受付、



芦田さんオフナレ)
血液検査の結果確認なども



芦田さんオフナレ)
ご利用いただけます。



芦田さんオフナレ)
あなたの一歩が、みんなを動かす。



芦田さん)
いま、献血を。

新WEB-CM「サステナブル」篇（30秒）ストーリーボード



芦田さんオフナレ)
「サステナブル」。



芦田さんオフナレ)
問われているのは、



芦田さんオフナレ)
言葉の意味じゃない。



芦田さんオフナレ)
そこに向かう、
“想い”なんだ。



芦田さんオフナレ)
いま、はじまりのとき。



芦田さんオフナレ)
その扉をひらくのは、



芦田さん)
わたし。



学生たち)
わたし。



芦田さんオフナレ)
この国の医療には、



芦田さんオフナレ)
年間 500 万人以上の
献血が必要です。



芦田さんオフナレ)
けれど、



芦田さんオフナレ)
10 代の献血者は
減り続けています。



芦田さんオフナレ)
サステナブルな医療のために
一緒に進もう。

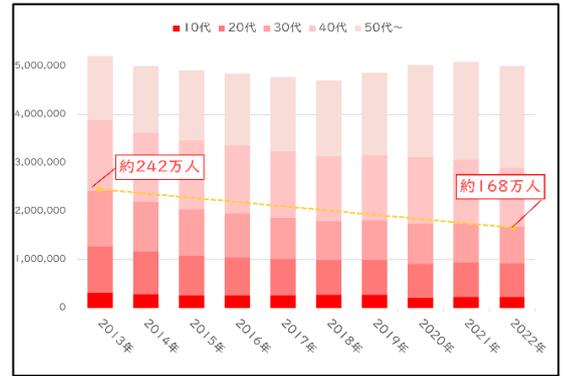


芦田さん)
10 代からの献血。

10代から30代の献血者数の推移

10代から30代の献血ご協力者数は、2013年は約242万人でしたが、2022年には約168万人と、この10年間で約74万人、割合でいうと約31%減少しております。

今後も輸血を必要とする患者さんに血液を安定的に届けるために、10代から30代の若い世代を中心に、多くの方に献血へのご理解とご協力を必要としております。



CM概要

- 放送開始日 : 2023年9月6日(水)より全国で順次放送開始
- CM タイトル : 新 TV-CM「道はつづく」篇(15秒)
新 WEB-CM「はじめてのパス」篇 (30秒)・「サステナブル」篇 (30秒)
- サイト URL : <https://www.jrc.or.jp/lp/tunage-sono-ti-kara/>
※2023年9月6日(水)9時公開予定

※CM カット、メイキング画像は下記までご連絡いただければ、お貸し出しさせていただきます。
ただし、本 CM 紹介以外での使用および 2 次的使用はご遠慮いただきますようお願い致します。
※写真素材などに関しては、リリースがお手元に届いた貴紙・誌・番組のみの使用とさせていただきます。
※他紙・誌・番組への素材の供与および掲載、オンエアは固くお断り申し上げます。
※掲載、オンエアなどの予定が決定した場合、大変お手数ですが下記 PR 事務局担当者宛ご一報いただければ幸いです。

芦田愛菜さんプロフィール



2004年6月23日生まれ 兵庫県出身
5歳で出演したドラマ「Mother」(日本テレビ/2010)で脚光を浴び、「大河ドラマ 江〜姫たちの戦国〜」(NHK/2011)に出演、「マルモのおきて」(フジテレビ/2011)では連続ドラマ初主演。主題歌を歌い、第53回日本レコード大賞特別賞を受賞。
映画「ゴースト もういちど抱きしめたい」(2010)で第34回日本アカデミー賞。新人俳優賞を受賞、映画「うさぎドロップ」(2011)と映画「阪急電車 片道15分の奇跡」(2011)で第54回ブルーリボン賞 新人賞を史上最年少で受賞、ほか第28回浅草芸能大賞新人賞など多数の賞を受賞。映画「パシフィック・リム」(2013)ではハリウッドデビューも果たす。

また、「連続テレビ小説 まんぷく」(NHK/2018)では史上最年少で語りをつとめる。バラエティー番組「サンドイッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」(EX)にてMCとしてレギュラー出演、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」(2020)で明智光秀の娘たま役で出演、映画「星の子」(2020)など数々の映画、ドラマ、CMなどで活躍。

近年では映画「メタモルフォーゼの縁側」(2022)で第47回エランドール賞新人賞を受賞。現在放送中のドラマ「最高の教師」(NTV)に鵜久森叶役で出演し、話題を呼んでいる。